

859回目となるこの日は、朝から2年生のみなさんが献花用の花を持ってきてくれました。ありがとうございました。

今日の祈念式は、6年生の先生方から「原爆殉難者の碑」についてのお話がありました。

○78年前の8月9日、11時2分。城山小学校から500mのところ  
に原子爆弾が落とされた。長崎の街は一瞬で吹き飛ばされ、燃やされ、た  
くさんの人が亡くなった。

○そのとき、城山小では中学生や高校生などが働いていた。林嘉代子さん  
もその一人である。

○28名の先生、そして105名の人たちが、城山小の敷地内で亡くなった。  
城山小に通っていた子どもたちは、1400人以上が自宅で亡くなった。

○戦争が終わって4年経った頃、亡くなった方の御冥福をお祈りするために、  
焼け跡に残されていた木の柱を使い、【供養塔】が建てられた。建てられたの  
は、現在の体育館の近くだった。



○今も続いている平和祈念式や慰霊式が、この前で行われてきた。

○戦後、21年経った頃、体育館を建てるために供養塔を動かさなければ  
ならなかった。そこで、当時の先生方、子どもたち、そし地域の  
様々な人たちの協力で、今のこの場所に【原爆殉難者の碑】が建てら  
れた。

○原爆殉難者の碑は、いくつかの石の塊でできている。正面から見て左側  
は、【遺族】を、右側は【人類】を表している。そして、上にある大き  
な碑が【殉難者】を表している。



○後ろには白い壁があり、核兵器の恐ろしさと核兵器を持っている国に対  
する厚い壁を表している。また、壁には「み魂よ 安らぎて永久にましませ」と、「子らのみ魂  
よ」の歌詞の一部が刻まれている。

○殉難者の碑には、原爆で亡くなられた方や  
遺族の悲しみ、平和に対する思いが込めら  
れている。だから城山小の皆さんは、祈念  
式のたびに、この碑の方を向いて平和を願っ  
て黙とうをしているのです。



●皆さんが使っているこの運動場には、たくさんの方の命が眠っ  
ています。そこに、ごみを捨てたり唾を吐いたりしないでくだ  
さい。お菓子のごみやペットボトルなどが捨てられていること  
があります。それを見ると、とても悲しくなります。



●運動場では、たくさんのお友達が楽しそうに遊んでいます。朝早く登校して楽しそうにサッカー  
をしている子、転んで泣いている子に優しく声をかける子、「一緒に遊ぼう」と友達を誘っている  
子がいます。こんな優しさが、もっともっと城山小にあふれるようになることを願っています。

●「平和を願い、戦争をしません」と誓い、平和を発信する皆さんには、まずは、「自分の回りにい  
る人に優しくできる人」になってほしいです。身近な平和がつかれなければ、遠くの戦争を止め  
ることはできません。